

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年1月31日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部 経済学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2025年12月31日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	オレゴン大学(日本語名) University of Oregon(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年9月～2025年12月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 9月下旬～12月中旬 2 学期: 1月初旬～3月中旬 3 学期: 3月下旬～6月中旬 4 学期:
学生数	約 20000 人
創立年	1876 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 155 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	6,020	円	食費込み
食費		円	
図書費		円	
学用品費	100	円	
携帯・インターネット費	220	円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		7000 円	
旅費(留学中)	400	円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	1270	44,000 円	形態: 明治大学、オレゴン大学両方に加入
渡航旅費		220,000 円	入国、帰国合計
ビザ申請費		60,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	8010 (=1,241,550 円)	331,000 円	
総計(A+B) ※円		1,572,550 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路
往路 出発地：成田 目的地：ユージーン 経由地：シアトル 復路 出発地：ユージーン 目的地：成田 経由地：シアトル
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：ハワイアン航空 料金：220,000 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名：) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名： H.I.S) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前： Barnhart hall) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2～3)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
留学先大学の Housing サイトを通じて探した。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
基本的に大学内の寮であれば、ミールプランがついてくるので自炊をしなくてよかった。私の寮はキャンパスからは少し離れているものの、部屋にそれぞれトイレとバスがあったのでそれについて困ることはなかった。大体が 2・3 人部屋で 1 人部屋もあるにはある。部屋を選択するタイムスロットによって選択できる部屋が限定されていると思われるので度の寮のどの部屋になるかはほとんど運次第である。後から申請などを出せば、ほかの寮に移ることは可能なのでその辺はそれほど心配する必要はない。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

基本的に事件はそこまで多くないが、何かあったときは大学側からメールが送られてくる。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮も大学内も問題なくWi-Fiが使えた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地口座は作らず基本的にクレジットカードのみを使っていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

TOEIC や就活関係のものは事前に持っていくといい。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intro to International Issues		国際問題入門
科目設置学部・研究科	GLBL	
履修期間	Fall	
単位数	4	
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Lecture, Discusstion(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	William Hatungimana	
授業内容	毎週様々な国際問題について網羅的に学ぶ	
試験・課題等	毎週のクイズと隔週で行うユニットクイズ、ペーパー×2	
感想を自由記入	諸問題についてたくさん触れることができたため面白かった。教授がスライドを公開してくれない人だったので、授業についていくのには苦労した。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Contemporary Economic Issues	現代経済問題
科目設置学部・研究科	EC
履修期間	Fall
単位数	4
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回
担当教授	Mike Urbancic
授業内容	経済学の基本的な知識を体系的に学ぶ
試験・課題等	毎週のクイズとオンライン上でのディスカッション、中間試験、期末試験
感想を自由記入	経済学の知識を復習できたとともに、初めて学んだ内容も多かったため、非常に有意義だった。また教授が気さくな方で授業中にいくつかアクティビティがあるなどして楽しむことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Academic Writing	学術文入門
科目設置学部・研究科	AEIS
履修期間	Fall
単位数	4
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回
担当教授	Alicia Going
授業内容	英語での学術文(レポート)などを書くために必要な知識や文法についてを毎週学んでいく。
試験・課題等	毎週の課題とクラス内での最終ペーパー
感想を自由記入	英語だけでなく、日本語のレポートにも応用できるような知識を多く知ることができた。少人数で基本留学生だけなので友達もできた。教授も気さくな方で英語が非常に聞き取りやすくかなり有意義な授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Game Theory	ゲーム理論入門
科目設置学部・研究科	EC
履修期間	Fall
単位数	4
本学での単位認定状況	申請中 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回
担当教授	Dante Yasui
授業内容	ゲーム理論の諸原理について学ぶ。
試験・課題等	毎週の課題とクイズ、中間試験、期末試験
感想を自由記入	今回の留学で最も歯ごたえのある授業だった。ゲーム理論にフォーカスした授業なので、1, 2 年次に受けるような経済学入門で少しやるようなものよりはるかに多く学ぶことが出来た。ゲーム理論の考え方について学ぶことが多いので、興味がある人にはおすすめしたい。教授も親身に答えてくれる方なので、しっかりやればおいて行かれることもない。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEFLの勉強
	8月～9月	TOEFLの勉強
	10月～12月	留学選考に向けた準備及び面接
留学開始年	1月～3月	協定留学決定
	4月～7月	ビザ取得、航空券購入、予防接種、その他必要書類の提出
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	留学期間
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	2025年12月末帰国

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学期間は短かったですが、新たな経験や刺激と今まで自分がいた環境に感謝する気持ちが強まりました。もちろん語学面に関しても生活リズムに関しても想像以上に大変な場面は多かったです。それでも自分に足りないものを知る良い機会になったと思いますし、成長につながったと感じています。

留学自体は環境を変えるという意味ではとてもよいと思います。語学的な側面はもちろんのことだと思いますが何より実際に異文化の生活に飛び込むという経験が自分にとっては刺激的でした。現地の学生と同じような生活を過ごすことは一番の文化体験になったと思います。そのほかにもほかの国からの留学生や同じ志をもった日本人留学生との交流はより自分にはないものを知る機会になりました。

オレゴン大学は西海岸の自然があふれるとてもどかな場所です。みなさんがアメリカ留学で想像するようなシティライフとは少し離れているとは思いますが、何かに急いでいる感じがなく一人ひとりが穏やかに過ごしている印象をうけました。実際に帰国までにオレゴン州を少し旅行しましたが、日本では中々見られないような壮大な自然を数多く見ることができました。様々な州や国からきている人も多く、それでいてとてもこの大学が好きな人が大学内外問わず多い印象です。受けた授業はどれもユニークで面白いものも多く、のんびりとそれでいて勉強も頑張りたい人にはとてもいい留学先だと思います。自分自身、留学は普段だったら赴かないような場所で現地の学生との交流を図るのが一番の醍醐味だと感じています。そういった意味でもオレゴン大学は旅行などではいかならないようなアメリカのリアルを感じるのに適していると思います。

本当に心温かい人が多く、困ったことがあっても親身になって聞いてくれるので友達やホストファミリーなど現地の大人に相談するのが個人的にはベストだと思います！